



ハットクラブだより

2019年7月 第48号

2019年度 総会を開催

2019年度（令和元年）年次総会が6月2日（日）、ライフプラザで開催されました。会員30名あまりの出席のもと、来賓には、林恒男箕面市市議会議員、藤迫稔教育長、西岡璋典国際交流協会理事長、神代繁近箕面市ハット市友好議員連盟会長をお迎えしました。

阿部会長挨拶

冒頭、阿部一郎会長より来賓のみなさまへお礼と挨拶がありました。その中で会長は「メキシコ友の会ともども箕面市ハット市友好クラブが担う姉妹都市間交流活動の重要性を認識するとともに、関連諸団体との協力ニーズに応えられるクラブとなるよう願っている」と述べられました。

来賓の方々からもご挨拶をいただきました

藤迫教育長は公務のためご出席できなかった倉倉市長からのメッセージを代読されました。「昨年5月、ロアーハット市で行われたNZ姉妹都市協会2018年年次総会への出席で訪問が三度となり、同年10月のウォレス市長とハット市高校生の公式訪問と日頃のスカイプ交流だけでなく、来年はオリンピック・パラリンピックのNZ柔道競技のホストタウンとなるなど重要性が拡大しており、ハットクラブの活躍も大いに期待しています。」とのメッセージを頂きました。

林市議会議員からは日頃の議会運営への協力の感謝と、交流の深まりによる人々との会話の大切さについてお話いただきました。

西岡国際交流協会理事長からは、ハットクラブの協会への協力のお礼、ホームページに見られる活発な活動に対する敬意、スカイプでは若い世代の参加による交流機会の増大が期待される、など励ましのお言葉をいただきました。

神代箕面市ハット市友好議員連盟会長は、2020 NZ柔道競技ホストタウンと、今年9月のNZチーム、世界の覇者オールブラックスも参加するラグビーワールドカップ開催による交流機運高まりの中、子どもたちの交流（チルドレンスクール）実現への期待が述べられました。

議事では、2018年度事業報告、同決算報告、会計監査報告が原案どおり承認され、ついで、新任の河野寿一さん、山岡昌代さんを加えた役員体制（後方、クラブからのお知らせに掲載）が提案され、今年度事業計画案ならびに予算案も原案どおり承認されました。予算案の内、「ハット市歴史翻訳本」出版に向けての予備費の割合が会費収入割合に比べて大きいので注意して取扱うよう一部の会員の方からご意見を頂きました。（加藤 俊明）

総会後茶話会が開かれました

NZへの憧れや訪問の思い出と、心優しい彼の地の皆さんとのふれあいの楽しさを語る会員の方々。また、昨今より多くのALTの先生がNZから来られて小中学校で英会話上達に寄与されていること、ハットクラブの存在を一般市民がもっと知ったほうがよいこと、NZとの交流や会員相互の交流をより大切にしたいなどのご意見も寄せられました。古くから会に参加されている方々からは20年前になる創設当初の苦心の様子なども伺うことができました。短い茶話会でしたが会員相互のお顔と声の一つになったなごやかなひとときでした。（加藤 俊明）

阿部会長挨拶



ご来賓の皆さま



●前年度のイベント(一部)を報告します。

「ニュージーランドをもっと知ろう」 講演会を開催

箕面市ハット市友好クラブにとって、「もっともっとニュージーランドらしさの溢れる行事が必要ではないか」と言う声がかつてよりありました。そこで、JETプログラムによりニュージーランド(以下NZと記す)からCIR(国際交流員)、ALT(英語指導助手)として箕面市に派遣されている内の3人をスピーカーに招き、2019年2月24日(日)、「NZをもっと知ろう」講演会を箕面市立中央生涯学習センターで開催しました。箕面市 倉田哲郎市長、ハット市 RAY WALLACE 市長夫妻からは、当講演会に一層の友好とNZ及び姉妹都市間の絆を深める奨励のメッセージを賜りました。また、NZ政府観光局から参加者に「100% PURE NZ MAP」の提供を得て、格好の資料となりました。

■ 講演の概要

スピーカー 3者がパワーポイントを作成(Bella Reidさんが2人の英語を日本語で説明、質疑応答でのサポートを会員の藤田安奈さん)

CIRのBella Reidさん(ウエリントン出身)は「日本とNZの相違」を流暢な日本語でスピーチ。共に島国、地震国同士、車は左側通行、上水道の水が飲める、等の類似点。異なる点では、歴史の長短、人口差、タトゥーが日常化、2025年までに禁煙スローガン、カジュアルな雰囲気を好むNZ人、裸足で歩くNZ人、等の話でした。

ALTのJulia Carmanさん(ハット市出身)は「南半球から見た世界観」を具象的にスピーチ。世界地図の中でのNZの位置性、NZへの入植の歴史・ワイタング条約の特徴的定義の10項目、幸福度ランキング世界で8位、情報公開度世界で1位、過去30年間で羊の頭数の半減、環境、自由・自立・平和、性平等制、等についての話でした。

ALTのMichelle Gibsonさん(ハット市出身)は「キウイハズバンド(キウイファーザー)」をスピーチ。伝統的キウイハズバンドから現在のキウイハズバンド、自身のハズバンド、夫婦共働きの場合はデイケアセンターに子どもを預ける状況、また現NZ首相のキウイハズバンドぶりまでを紹介。首相は6週間の産休後職場に復帰し、夫君は国会にベビーを連れて行き、母乳育児を実践協力。同性婚の法的許可、結婚では無く同棲も多い現実、等の話でした。

六角さんの司会でオープニング



左より、スピーカーのB.Reidさん、M.Gibsonさん、J.Carmanさん



熱心な聴衆で満杯でした



英語で聞きたい方にも日本語で聞きたい方にも楽しんでいただけたのではないのでしょうか。ご参加の皆さんが、少しでもNZを身近に感じられたなら、何よりも喜ばしいことです。参加者は予想をはるかに上回り、部屋は入場者でいっぱいになりました。申込受付をお断りした方々には、大変申し訳ないことでした。
(六角みよ子)

平成最後のお花見の会

新元号「令和」の発表の後、4月3日に、毎春恒例のお花見会を、万博記念公園で開催しました。1週間前は、満開の予報だったのですが、3~4日前からの寒の戻りで、花冷えの中、5分咲きの桜を楽しみました。

ハットクラブ会員、英会話サロンのメンバーをはじめとする25人が参加し、お弁当をひろげ、持ち寄った色々のお酒を酌み交わし、和やかなひと時を過ごしました。

英会話サロン講師のアーロンさんが、仕事で上京する直前に駆けつけてくださり、皆で自己紹介をはじめ、英語でのやり取りとなりました。

また、NZハット市近くの学校に、1年間、留学していた中学生が、祖母さんと一緒に、参加され、学んだ流暢な英語を披露してくれました。色々とお苦勞もあったようですが、たいへん勉強になったと生き生きと語る姿がフレッシュで、爽やかでした。(片芝賢二)

アーロンさんを囲んで、お弁当



みんな揃って記念撮影



本年度の事業

■ 行事

1	2019年年度総会・茶話会	6月2日開催済
2	NZワイン試飲会	10月(一般市民を対象)
3	多民族フェスティバル(ワイン販売)	11月第2土曜日の予定 (一般市民を対象)
4	キウイパーティー	12月
5	NZに親しむ会・その他	2月もしくは3月(一般市民を対象)
6	お花見	3月下旬～4月上旬

■ 定例活動

1	英会話サロン	<ul style="list-style-type: none"> ● 月例、原則毎第3日曜日 14:00～16:00(8月、12月休会)の年10回、うち1回は、ハット英語寄席を併設予定10月(一般市民に公開) ● 開催場所は、原則、東生涯学習センター B2 講座室としていますが予約出来ない場合が想定されますので、その都度確認してください。
2	スカイプ交流	月例(年10回)協同活動 (一般市民を対象)
3	運営委員会	月例(年11回)
4	会報	年2回発行(WEB上で)
5	広報	ホームページ等

■ プロジェクト

ハット市史“Lower Hutt – The First Garden City”の翻訳本を出版

クラブからのお知らせ

1. 「ハットクラブだより」のWEB配信の開始

前第47号でお知らせいたしました通り、本第48号より、ホームページ上に掲載する事になりました。
<https://minoh-hutt.com>にアクセスいただき、これまでと同様に、ご愛読ください。

2. イベントの企画・運営・参加のお願い

本号に詳しく掲載されていますが、初めての試みで「NZをもっと知ろう会」を開催いたしました。
これは、ハットクラブゆえの、よりNZらしい内容の催しとの考えから企画したものです。
各行事に参加いただくと同時に、会員の皆さまからの企画、アイデアをお待ちしております。

3. 2019年度運営委員・監事名簿

会 長 / 阿部 一郎

副会長 / 川島 一彦、六角 みよ子、窪 敏夫 (新)

会 計 / 川島 一彦

書 記 / 平井 美矢子 (新)

委 員 / 東三貴子、片芝 賢二、加藤 俊明、河野 寿一 (新)、山岡 昌代 (新)

監 事 / 金岡 修

顧 問 / 小枝 正幸、佐藤 徹

4. ハットクラブだより第48号編集

・発行日：2019年7月（<https://minoh-hutt.com> に掲載）

・編 集：片芝賢二、加藤俊明

・問合せ先：片芝賢二 E-Mail : kenji051422@ozzio.jp TEL : 072-728-1040

